

細菌・ウイルス  
臭気・花粉  
ハウスダスト

# 徹底除去!!

業務用空気清浄機 **アースプラス・エアー**

**新登場!**

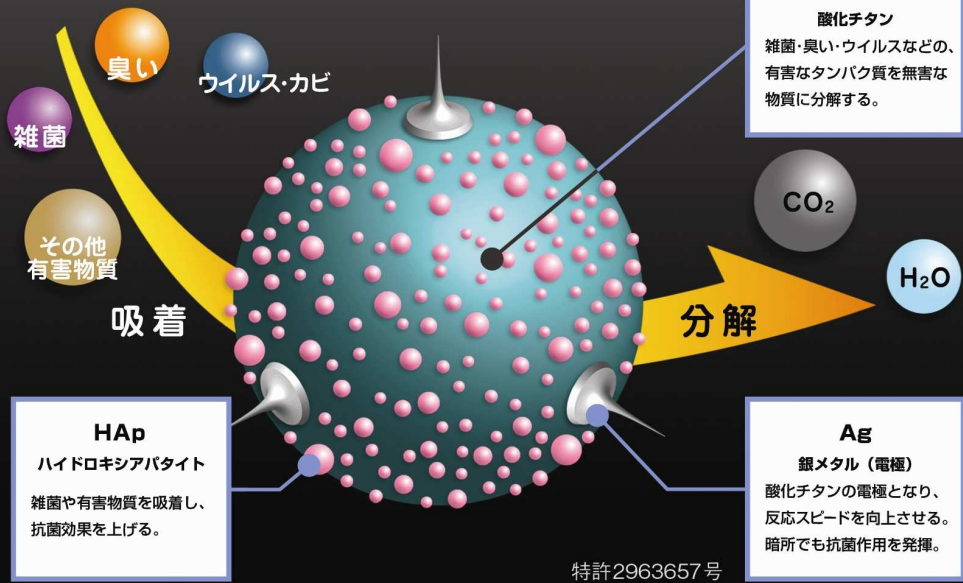
ノロウイルス・MRSA・SARS……そして新型インフルエンザ、日々高まる脅威との戦いを強力にバックアップする新素材を搭載！タンパク質を選択的に吸着・分解する業務用空気清浄機の登場です。

## earth plus air (アースプラス・エアー) 脅威の吸着・分解のメカニズム

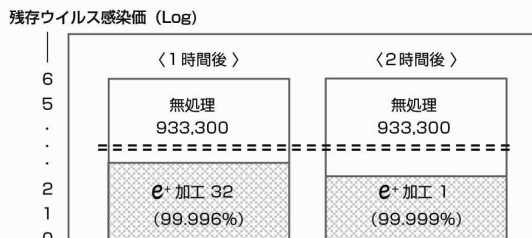
新素材 e+ を加工した特殊フィルターを搭載



**e+ air**  
[アースプラス・エアー]



### エビデンスー1：ウイルス不活性化試験



試験期間：NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会  
試験方法：インフルエンザA香港型(H3N2)を使用し、不活性化試験を実施(ブランクアッセイ法)。

### エビデンスー2：感染症病棟臨床データ

通常のHEPAフィルターから細菌を採取・培養した場合



e+ HEPAフィルターから細菌を採取・培養した場合



試験期間：九州某大学病院(終末医療センター)  
試験方法：HEPAフィルター中央部よりサンプリングを行い、一般細菌用の寒天培地で培養。

「アースプラス・エアー」は信州セラミックスの商標登録です。

# 続々届いています！ アースプラス・エアー導入事例

## 導入事例1：抗がん剤投与室

その抗がん剤投与室では、頻繁に治療が実施されていました。一回の治療時間は30分～4時間。100m<sup>3</sup>前後の部屋に数台のベッドがカーテンと衝立のみで仕切られていました。間仕切りのないワンルームは臭いが広がってしまい、患者同士のクレームにつながりやすく問題となっていました。そこで個々のベッドの側に「アースプラス・エアー」を設置。一週間後に確認をしたところ、患者様から「臭いが気にならなくなった」との声を頂きました。

## 導入事例2：総合病院

一般病棟の各階に備え付けてある汚物処理室の臭いの問題に加え、感染対策へのエビデンスが評価されて「アースプラス・エアー」が導入されました。その後、病院では新設病棟の運用が始まり、継続して汚物処理室にも「アースプラス・エアー」が導入されました。その後、臭いの問題が泌尿器科で発生。処置室から刺激臭が診察室～廊下まで臭うため、患者様からクレームがあがり、対策として汚物処理室での実績のある「アースプラス・エアー」が、継続して設置されることとなりました。

## 導入事例3：老人介護施設

冬期は暖房による保温のため各部屋が密閉状態となり、換気が満足にできずに臭いの問題が発生していました。また冬場は乾燥するため、インフルエンザなどの感染症への十分な配慮が求められておりました。そこで、人の出入りが多いエントランス部、開放状態にあるトイレのドア付近、寝たきり患者様のベッド付近などに「アースプラス・エアー」を設置。臭いの問題、感染対策のほかに、オートクリーニング機能による、メンテナンス性の高さが、常時忙しいスタッフの皆様に評価されました。



株式会社 信州セラミックス  
<http://www.shincera.co.jp/earth-plus/>

—— お問い合わせ先 ——